



広報 えどやしき



平成13年から始まった第七葛西小学校の庄内米づくり授業。今年は5年生86人が田植えを体験しました。都内ではめったに見られない風景です。田んぼの中に足を入れるだけで「キャー・キャー」と大騒ぎしながら、田植えを楽しみました。

第七葛西小学校では稲の刈取り・脱穀・精米までを児童や保護者たちで行い、収穫したお米は収穫祭の時ににぎりにして食べ、大地の恵みを感じられる食育を教育方針の一つにしています。

えどやしき応援団

岡田 光年 さん



プロフィール

2010年よりホテルシーサイド江戸川に勤務。現在副総支配人兼料飲マネージャー。横浜市出身。一児の父。

ホテルシーサイド江戸川に於いては、2015年度自主事業企画として、江戸川区友好都市フェアを企画。鶴岡フェアは2015年9月5日～28日の期間で開催致しました。

主旨として、友好都市である鶴岡市のご紹介を主な目的とし、特に、2014年12月にユネスコ食文化創造都市に加盟認定を受けた事から、その食文化・食材の紹介は勿論、鶴岡市様の全面的協力を得て古くから伝わる伝統産業・工業の紹介・展示も併せて実施。

同時に鶴岡地区物産協同組合様のご協力により、小規模ながら物産の展示・販売も行いました。

期間中は多くの方々にご利用

いただき、江戸川区民の皆様のみならず、遠方より葛西臨海公園へお越しいただいた他道府県の皆様にも広く、鶴岡市の事をご紹介出来たかと考えております。

また、期間限定ではございますが、リーズナブルな料金にて当館にご宿泊いただける「鶴岡市民プラン」の販売を開始し、より多くの方が江戸川区を訪れていたけよう、また当館の「江戸川区の迎賓館」という役割を果たすべく、こちらに関しても今後継続的に実施していく予定でございます。

また、来期に於いても鶴岡フェアは開催させていただく予定であり、今期の反省点として、食文化・食材の紹介をメインとしながらも、食材的に端境期の開催となり、中途半端な紹介の形となってしまうました。今後は鶴岡市東京事務所様のご協力の元、開催時期の選定をしっかりとし、より多くの方にご来館いただき、両都市の架け橋の一端を担えるよう、より充実したイベントとしていきたいと考えております。

「江戸前情報」



ワイ！ガンダムだ



暑くないヨー



アー・ヤッショーマカショー

期日	イベント名	場所
4月2日(土)・3日(日)	全国さくらシンポジウム	TOKIビル前広場(船堀)
4月3日(日)	小松川千本桜まつり	都立大島小松川公園
5月3日(祝)・4日(祝)	花の祭典	鹿骨スポーツ広場
5月8日(日)	清新町・臨海町ふれあいまつり	清新町緑道公園
5月15日(日)	鹿骨区民館まつり	鹿骨区民館
5月15日(日)	ときめきフェスタ2016	船堀駅TOKIビル前広場
5月22日(日)	中央地域まつり	東小松川公園
5月22日(日)	新田地域ふれあいフェスティバル	新田6号公園
6月4日(土)	環境フェア	総合文化センター
7月7日(木)・8日(金)	鶴岡の観光と物産展	東西線西葛西駅南口広場
7月23日(土)・24日(日)	金魚まつり	行船公園
10月9日(日)	江戸川区民まつり	都立篠崎公園
10月16日(日)	葛西まつり	葛西区民館周辺
10月16日(日)	小松川平井ふるさとまつり	小松川小学校周辺
10月23日(日)	中央・一之江ふるさとまつり	松江第五中学校周辺
11月6日(日)	北小岩まつり	小岩公園・小岩第三中学校
11月9日(水)・10日(木)	江戸川「食」文化の祭典	総合文化センター
11月13日(日)	東部地域祭	東部区民館周辺
11月24日(木)・25日(金)	鶴岡の観光と物産展	東西線西葛西駅南口広場
1月28日(土)	寒鱈まつり	船堀駅TOKIビル前広場
3月2日(木)・3日(金)	鶴岡の観光と物産展	東西線西葛西駅南口広場

その他予定、詳細等は鶴岡市のホームページから東京事務所をご検索ください。
URL : <http://www.city.tsuruoka.lg.jp/>

日本初の

「ユネスコ食文化創造都市鶴岡」

世界が認めた 鶴岡の食文化

「タダチャマメ、ポーノ!!!」
イタリア・ミラノ万博でただちゃ豆を食べて、
感激する世界の人々。この時、ただちゃ豆は、
「世界で一番美味しい枝豆」になった!

日本初のユネスコ 食文化創造都市

平成二十六年十二月一日に鶴岡市は日本で初めてユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野への加盟が認定されました。

これは、鶴岡市の「食」が持つ特色や魅力そのものだけでなく、様々な分野の方や地域による、食文化を守り発展させようとする取り組みも含めて、総合的に評価されたものです。

鶴岡の食文化の 特色とは

①多様な地形・はつきりした四季から生まれる多様な食材

鶴岡市は、平成十七年に合併し、月山から日本海沿岸まで、東北一の面積を有する市となりました。標高約2000mから海拔0m、しかも日本でも有数の豪雪地帯や、近年まで夏の最高気温を誇ったほどの、はつきりとした四季の変化があります。こうした特色のある風土からは、四季折々の多様な食材を得ることができます。

②在来作物が五十種類以上

なかでも一番の特徴は、在来作物が五十種類以上も残されていること。その代表格は、ただちゃ豆ですが、この在来作物とは、農家自らが、自家採種して

代々受け継がれてきた、地域特有の作物のことで、伝統的な調理法や栽培方法とともに伝えられてきていることから、「生きた文化財」とも呼ばれています。

③歴史に裏打ちされた食

さらには、千四百年の歴史を誇る「出羽三山」、五百年以上の「黒川能」など、長い歴史を誇る文化の中には、守り伝えられてきた料理があります。出羽三山の精神文化から生み出されてきた精進料理や、黒川能での「豆腐焼き」などは、その象徴となっています。

④高等教育機関、料理人、農家、市民の連携

また山形大学農学部や慶應義塾大学先端生命科学研究所など、鶴岡市には、高等教育機関が集積し、ここでは在来作物等に関する保存・研究・普及活動も行われています。また世界で活躍するシェフや、日本一の農家レストラン、郷土料理店、庄内浜の食文化を伝える料理人、さらには在来作物を守り伝えてきた農家、今でも家庭では行事食を作っていることなど、市民それぞれが独自に食の取り組みを行っています。

このような鶴岡の食文化の総合的な魅力が世界の食文化都市

に相応しいとユネスコから認められたものです。

世界に向けて 魅力を発信

昨年十月、鶴岡市は「食」をテーマにイタリアで開催された「ミラノ国際博覧会」に出展し、アル・ケッチァーノの奥田政行シェフによるただちゃ豆や、出羽三山齋館の伊藤新吉料理長による精進料理などの実演を行い、二日間で約八千人と日本館イベント広場でもトップクラスの入場者数を誇り、鶴岡の食文化の魅力が海外でも伝わるという実感を持つての帰国となりました。

東京オリリンピックに 向けて

ミラノ万博での成果を活かし、今年二月には、イタリア食科学大学との交流事業も行い、外国人目線での食文化の魅力の発見や情報発信などを行いました。

東京オリリンピック開催に向け、今後も増加が予定されるインバウンドへの対応として、日本で唯一のユネスコ食文化創造都市を活用した誘客を図るとともに、農業や観光など今後も地域活性化に繋がる取り組みを続けていきます。

鶴岡市企画部政策企画課
食文化推進室長 秋葉敏郎

ユネスコ創造都市ネットワークとは

平成16年にユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が創設。創造的・文化的な産業の育成・強化によって都市の活性化を目指す世界の都市が、国際的な連携と相互交流を行うことを支援する枠組み。食文化のほか、文学、映画、音楽など7つの分野がある。食文化創造都市としては、本市を含め世界で18都市が認定されている。



食文化ロゴマーク
ユネスコ食文化創造都市であることをPRするために、ゴロマークを作成。鶴岡産の農産物などに利用されています。



福祉ボランティア団体協議会 友好都市鶴岡市 訪問記



平成二十一年から始まった鶴岡市ボランティア団体との交流は、隔年ごとに訪問しあい交流しています。

今回は江戸川から布絵本と「ケロちゃんタオル」づくり用のタオルを持参し、鶴岡市の保育園に贈るなど、交流の輪を拡げています。

鶴岡を旅して 高橋伸子

十月二十三日から二十四日、江戸川区福祉ボランティア団体協議会の隔年で行われている「友好都市 鶴岡市ふれあいツアー」に参加させていただきました。

朝七時半に江戸川区を出発し、高速道路をひたすら走るバスの中は、話の花が咲き乱れていました。トイレ休憩と昼食タイム三十分の強行バス旅でしたが、景色が少しずつ秋色に変わり湯殿山に入ると思いがけずの



紅葉に歓声が上がりました。来たよ山形”でした。

見慣れた？鶴岡市内に入り致道博物館など城下町の面影を車窓に、第一の目的地 鶴岡市役所に到着。関係者の方々の歓迎を頂く中、市長さんへの表敬訪問をさせて頂きました。戦時中、当時の小学生を学童疎開として受け入れてくださったことが縁で、鶴岡市と江戸川区が友好都市として、いろいろな形で交流が行われていることに人のつながりを感じずにはおられず、この平和がいつまでも続きますように、と心で祈りました。

次に訪れた、松ヶ岡史跡の大蚕室を利用した庄内映画村資料館では、鶴岡でロケが行われたという数々の映画の写真パネル、セットなどにふれ、感動の場面が想い起こされました。

「山伏温泉ゆほか」で、ほっこりとしたお風呂に入り、今回のツアーの目玉、羽黒山宿坊「大聖坊」に到着。大自然の中にしつかりマッチした坊に入り、仏教プラス神道の『神仏習合』が祀られた神前にて第十三代ご当主星野文紘氏より、日本人にとっての「山の思想」と題して御講話を賜り、山伏修行のお話と共に、人が生きてゆく上での山からの恵み、次代へと受け継いでゆくための魂のお話し、神仏習合の歴史、出羽三山の多くの不思議等々貴重なお話を沢山いただきました。

その後の鶴岡の皆さん方との交流会は鶴岡のお酒の大盃体験に始まり、精進料理の珍しく楽しいお食事をいただきました。初めて食べたのはアケビの実？の煮物です。都内ではアケビそのものが珍しいのですが、アケビは種をしゃぶって食べる事しか知りませんでしたのでとてもビックリでした。



鶴岡市役所で



宿坊での交流会

鶴岡の皆さんのボランティア活動の発表を伺い、若い方々が参加されていることに学ぶところが沢山ありました。それに交流会が何年も続いていることで、顔見知りの人達と逢うと親戚に会えた気分、別れ難かったです。

坊の静けさの夜、“枕投げでも”と言っていたのに、布団を敷いたら全員静かに就寝、気がついたら朝でした。

二日目は朝の勤行に参加し、心清らかに「大聖坊」を後にし、山伏さんの案内で平安時代・平将門の創建と伝えられている国宝五重塔を見学。杉並木の中で荘厳に建つ塔は均整のとれた美しさで知られていますが、それを守り続けた人々の偉大さにも感動しました。

その後、加茂水族館で色々なクラゲの神秘的な姿にうっとり：

最後に庄内観光物産館で思いのお土産をたくさん買って、お世話になった鶴岡市の副市長様、ボランティアセンターの皆様、羽黒地区のボランティアの皆様から感謝しつつ、また来る日を楽しみに帰路に着きました。



加茂水族館のクラゲ



羽黒山で山伏と